

裾野市は、2021年10月「カーボンニュートラルシティ」を宣言しました。ロードマップは、その具体的な道筋を示すものです。  
※本紙では概要を説明します。詳細は本編をご確認ください。

2050年

カーボンニュートラルを達成し、

富士山のすその  
水・緑・人を  
共に育てるまち

を実現します。

CN達成



裾野市は、2050年カーボンニュートラルに向け、  
2030年のCO2排出量について46%の削減を目指します！

みんなで今から取組みを始める必要があるのん！  
でもCO2はどこから排出されているのかな？  
どんな取組みに効果があるのかな？



2030年

中期目標となる2030年では、  
46%削減（2013年度比）を  
目指します。

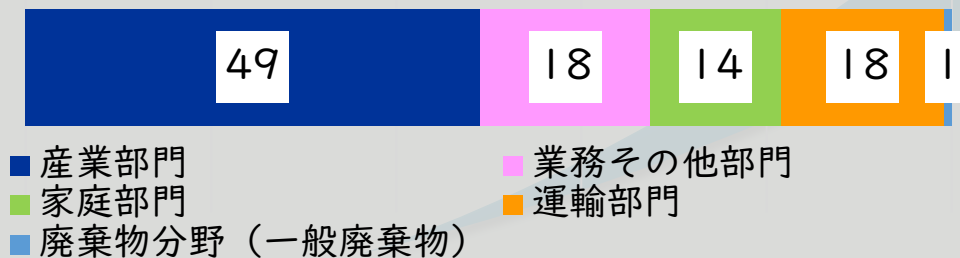
46%  
削減

315千トン  
（2013年比）

現在

2013年度 部門別CO2排出割合（%）

CO2  
584千トン  
（基準年：2013年）



今のCO2排出量は、家庭部門は「世帯数」、  
運輸部門は「車両保有台数」、産業部門は  
「製品出荷額」などで算定されているのん。  
でもそれだと一人ひとりが頑張っても効果が  
見えないよね？  
それに、これらが減るってことは市にとって  
いいことではないよね？

すそのんの疑問には、裾野市独自の取組み「すそのdeカーボン」により、納得感ある取組みを推進していきます！

## すそのdeカーボン

### Step 1：「見える化」の実現

#### 独自の指標

「市民・企業の温暖化対策活動に結びつき、その効果を捉えることができる」新しい指標をつくりま

#### 独自のシステム

情報活用プラットフォーム「デジタル裾野」などを活用し、対策効果のビジュアル化を実施します。

### Step 2：「見える化」を活かした対策サイクル

対策実施

効果検証

対策は3つの柱をベースに検討

仕組み

「すそのdeカーボン」実現

ひと

環境に配慮した行動への変化

技術

省エネ／再エネ先進技術

「すそのdeカーボン」は、みんなが温暖化防止に取組みやすく、さらに、その「頑張り」を見えやすくする仕組みだよ！

